



自然のステキ発見あそび（伝えたい気持ちを通して自然の世界へ）

1 プログラムの概要

- ① 内容 親子で作った「発見カード」を持って、自然の中にあるステキな宝物を発見しにお散歩に出かける。
- ② 場所 公園や庭
- ③ 時間 20分前後
- ④ 準備物 発見カード（書き込み式）・鉛筆

2 ねらい

- ・ 親子のコミュニケーションづくり。
- ・ 身近な自然の「ステキ」を発見することを通して、自然に親しみを持ち、自然体験の面白さや楽しさを感じる。
- ・ 自然の「ステキ」を発見した感動を親などに伝えることで、言葉を選んだり表現したりする楽しさ、思いが伝わった喜びを感じる。

3 プログラムの進め方

プログラム内容	保護者の関わりのポイント															
<p>（導入）発見カードを作る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子供と「発見カード」を作る。 <p>例1</p> <table border="1" style="display: inline-table; margin-right: 20px;"> <tr><td>そら</td><td>まる</td></tr> <tr><td>くさ、き</td><td>さんかく</td></tr> <tr><td>じめん</td><td>しかく</td></tr> </table> <div style="display: inline-block; vertical-align: top;"> <p>【見本】</p> <p>しぜんの「ステキ」はっけんカード</p> <p>●「そら」「まる」「き」「じめん」 それぞれの絵しよ にみる しぜんの「ステキ」をはっけんしよう ●はっけんした「ステキ」を おおきくで おぼこもよう</p> </div> <p>例2</p> <table border="1" style="display: inline-table;"> <tr><td>きのこ</td><td>あか</td><td>フワフワ</td></tr> <tr><td>チクチク</td><td>きのみ</td><td>あお</td></tr> <tr><td>しろ</td><td>ツルツル</td><td>いっしょにおい</td></tr> </table> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※広島県教育委員会ホームページからダウンロードできます。</p> </div> <p>※ 家にある厚紙などに、今から見つけにいくものの簡単なテーマを3～10個程度書きこむ。 (字が読めない子供のために、簡単な絵を描くのもよい。)</p> <p>※ 例2のように、ビンゴのようにつくるのもよい。</p>	そら	まる	くさ、き	さんかく	じめん	しかく	きのこ	あか	フワフワ	チクチク	きのみ	あお	しろ	ツルツル	いっしょにおい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 子供が出来るところまで一緒に作って、難しいようなら、親が見本を見せるように作りましょう。
そら	まる															
くさ、き	さんかく															
じめん	しかく															
きのこ	あか	フワフワ														
チクチク	きのみ	あお														
しろ	ツルツル	いっしょにおい														

(遊び方の説明)

- ・ 発見カードを見せて、「今から自然の中のステキを発見しに、お散歩にいこう」と子供を誘います。どんなステキを発見するのか、カードに書いてあるものを説明しましょう。
- ・ 次に、子供が発見したら、親が発見カードに書くことを伝える。

【例】

「空にあるステキ、草や木のところにあるステキ、地面のステキを一緒に見つけに行こう！見つけたら教えてね。このカードに書くとよ。たくさん見つけよう！」

- ・ 親が楽しんでいることが子供に伝わるように、一緒に楽しみましょう。

遊び方1

- ・ 公園などの身近な自然に散歩に行き、子供は、発見した不思議や面白いものを親に伝え、親は発見カードに記入する。

【例】

(子)「お空の雲が象さんみたい！」

(親)「本当だ、象さんみたいだね！」

→お空のところに、<象さんの雲>と書く。絵で描いても良い。



- ・ 子供の発見を肯定的に受け取りましょう。

【子供への声掛け例】

○ 望ましい例

- ・ 「見せて見せて！」「本当だ！」
- ・ 「なるほど、象さんがいるんだね」「象さんどこにいる？(子:さっきはいたんだけど形が変わっちゃった)見られなくて残念！でも〇〇ちゃん、見られて良かったね！私も見たかったな。」
- ・ 「なるほど、私は気付かなかったけど、〇〇ちゃんは発見してすごいな！」

○ 望ましくない例

- ・ 「象さん、いないじゃない」「象さんにはみえないよ」
- ・ 「もっと良いものがあるでしょ」

- ・ 子供の個性豊かな、生き生きとした表現(発言や動作)も大切に、発見カードに書きこみましょう。

【例】

「おなかが黄色い虫をバナナ虫と名付けた」

- ・ 親に分かってもらえた喜びを感じられるよう、子供の発見をどんどん発見カードに書きましょう。

遊び方2

- ・ 探しているもの以外の面白いものや不思議なものを発見したり、葉っぱ遊びを始めたりするなど、寄り道・道草遊びをする。

- ・ 子供の興味関心に寄り添い、子供の遊びの変化や発展を楽しみましょう。

ふりかえり

- ・ 発見カードをみながら、親子でお散歩中に見つけた物や起きたことなどをふりかえり、親子のおしゃべりを楽しむ。



- ・ 子供の思いに耳を傾け、一生懸命に言葉を探して伝えようとする気持ちに寄り添い、話をするのを待ってあげましょう(受け身になる)。
- ・ 思うように伝えられない時は、「〇〇と思ったのかな？」と自分の気持ちとピッタリくる言葉との出会いをサポートしましょう。
- ・ 子供の表現を楽しみ、喜びなどの感情に共感しましょう。

遊び方アレンジ

- ・ 子供と一緒に「カメラを持ってステキ発見」に出かける。
 - ① 親子でお散歩中に自然のステキを発見したら、スマートフォンやデジタルカメラで、撮影する。
 - ② 家に帰ったら、家族に撮影したステキを画面で見せ、どんなステキを発見したのか報告する。

【留意点】

- ・ スマートフォンやデジタルカメラを子供に貸す時のルールを家族で決めておきましょう。

【例】

- ・ 写真を撮るとき以外は保護者が持つ。
- ・ カメラモード以外は使わない。

4 全体を通しての、保護者の関わり方

- ・ 危ないとき以外は、子供の行動を制止せず、見守りましょう。
- ・ 「〇〇でしょ」と教えるよりも、子供の発見や不思議、喜びなどを分かち合いましょう。
- ・ ワクワク・生き生きした体験を親子で楽しみましょう。

5 服装他

自然の中で活動する時は、長袖シャツ・長ズボン・帽子・靴下・運動靴（又は長靴）を身に着けることで、ケガや蚊・マダニ・蜂に刺されること、熱中症を予防します。また、虫除けスプレーを肌や服に吹きかけて出かけましょう。

6 安全確認

- ・ 自然の中では、かぶれる葉っぱや毛虫、特に草むらではへびやマダニなどに注意しましょう。また、夢中になって道路に飛び出したりしないように、子供の安全についてサポートしましょう。
- ・ 自然の中に出かけた後は、服についたゴミやマダニを落とすために全身をはらい、ケガや虫刺されがないか、チェックをする習慣をつけましょう。
- ・ 葉っぱや花を取る場所が、採取してよい場所かどうか、大人が確認して教えましょう。社会のルールに出会うチャンスでもあります。